

異文化理解サロン「中国の学校って何？～中国の教育制度」

「違いで驚き、びっくりする」社会より「違いを受け入れる・活かす」という社会への転換を目指し、世界の様々な国の文化、習慣、現状、課題等について話を聞き、異文化に対する偏見をなくし、身近に触れ合う機会を府民に提供します。

外国人住民を講師として招き、自国の文化、社会、習慣、話題等についての講演及び交流・質疑応答・意見交換を通して異文化への理解を高め、地域の多文化共生に関心を持ってもらい、推進します。

日時： 2015年10月24日（土） 14:00～15:30

講師：

邹悦 氏（すえ・えつ）氏

（中国大連市出身、舞鶴市の国際交流員）

内容：

登校は午前7時、毎週月曜日の国旗掲揚式、目の体操、軍隊訓練など、中国の学校生活、教育の特徴をまず説明しました。また、変わっていく食生活、部活の内容などについて話しました。

生徒の個性が育たない制度、優秀な学校が集まる校区の家賃問題など、後半では現在の課題を解説しました。

講演後、Q&Aを行い、参加者が住宅の問題、出産方針、受験制度と世論、中国人児童への日本語教育などについて聞きました。

会場： 京都府国際センター（京都駅ビル9F）

参加者： 15名

主催： （公財）京都府国際センター

アンケート結果：

- * 日本との比較、参考となるような資料が多く、話も頭に入りやすかったです。
- * 以前中国へ行ったことがあります、今回教育制度、その他に色々お聞きできて大変有意義でした。
- * 中国人の方（中国で教育を受けた方）からの直接の話であったり、他の方の意見も聞けて良かった。

講座の様子：



目の体操を体験している参加者

